令和4年度 事業報告書（抜粋）

■ 概 要

新型コロナウィルス感染防止のための対策は続き、社会情勢により物価が高騰している状況下で、利用者に対して安心したサービスを提供することができた。臨時の介護報酬改定では、介護職員等ベースアップ等支援加算が創設され、介護職員等の処遇改善を目的とし、1人あたりの収入を3%程度引き上げられた。年度末にはコロナ感染も落ち着いてきたため、リフレッシュする目的で3年ぶりに職員旅行を実施し、職員の士気を高めることができた。

■ 重点項目

1. 稼働率向上による安定した収入の確保

(1) 入所部門稼働率の目標数値 95%を設定したなか、平均95.0%（昨年95.4%）となり、目標値を達成することができた。

(2) 在宅部門の稼働率は、デイけやき 74.2%・デイ善哉 62.9%・すみれの花 97.9%・荒江の家 平均登録者数 11.8名となった。

2. 設備及び備品の老朽化に対する更新

施設の安全性確保や利用者の利便性、働きやすい職場環境に配慮するため、下記の設備や備品等の更新を実施した。

(1) たちばな2階 食堂拡張工事の内容検討

(2) たちばな 県補助金を活用したセンサーベッドの導入

(3) けやき4階 機械浴槽の更新

(4) けやき全館 床面の剥離清掃とワックス掛け

(5) デイ善哉 劣化した床面の張替え

(6) けやき・荒江の家・すみれの花・まきの木 市補助金を活用した陰圧装置の設置

3. 感染防止対策の徹底とサービスの継続

施設内でのコロナ感染が拡大したことがあったが、利用者と職員の安全を確保するとともに、限られた人員で継続的なサービス提供を実施した。

4. 職員の適正配置と人材育成

(1) 慢性的な人材不足が続くなか、外国人技能実習生（2期生4名）の受け入れ、有料紹介会社からの紹介で採用することができ、人材不足を緩和することができた。

(2) 誠和会キャリアパス制度やオンライン研修を実施し、人材育成を図った。

5. 企業主導型保育園の特色ある運営

委託会社をアイグランに変更し、課題であった保育内容の質の向上と職員確保が改善できた。リトミック・英会話など週のカリキュラムを充実させ園行事や保育参観も取り入れた保育内容など保護者からの好評を得ることができた。